

2022年(令和4年)度
英語検定型入学試験C日程 問題
海外帰国生徒入学試験(国際バカロレア等を含む) C日程 問題

小 論 文

2022年2月3日 実施

【解答上の注意】 答えは別紙解答用紙に、左横書きで書いてください。
この問題用紙の余白や裏面を下書きなどに利用してもかまいません。

《課題文》

現代社会の生活様式の特徴は、経済代謝とも呼ぶべきもののごく高い率、つまり大多数の人にとっては、まだまだ悲しむべきほど低い生活水準を得るための莫大な資源投入である。奇妙で逆説的なことであるが、われわれは静止しているためにますます速く走らねばならないのである。平均的なアメリカ人の経済代謝率は、平均的インド人の五十倍見当であり、平均的西ヨーロッパ人のそれは三十倍であるが、世界の豊かな社会の追及しているのは、貧しい社会よりも一心不乱に代謝の活発化をもとめての戦いである。ところが、そうした活発化に成功しても、生活の重荷が軽くなるわけではなく、かえって重くなる。燃料不足や物資不足で一層の成長ができなくなったり、あるいは経済活動を一部落とすほかなくなったら、人々を待っているのは貧窮だけだと恐れられている。

すべてこれらは経済代謝率を生活水準と同等とする混乱した考えに由来する。生活水準は消費する、つまりは価値のある財やサービスを壊したり使いつくす率によって本当に決まるのだろうか。非常に高度な消費をおこないながら、暮らしは貧弱な家庭を目にする。夫婦は仕事に出、帰宅すると身体は疲れきっていて機嫌も悪く、テレビを見るほかになにもする力はない。その子供たちは構ってもらっていないと感じ、手もつけられず解決にカネがかかる問題を次から次に親につきつける。カネのかかる休暇も年間に溜まった疲れや傷を癒すことができない、等々である。ところが、消費は比較的少なくても豊かな暮らしをしている家庭もみんなが知っている。どんな暮らしなのだろうか。経済の言葉でいえば、前者の代謝率は高く、後者のそれは低い。生活水準の高いのはどちらだろうか。

よく耳にする、簡単でスマートな対策は「サイクル(自転車)とリサイクル」である。自転車はうれしくなるほど経済代謝率の低い輸送形態である。乗り手の生理的な代謝率はくるまの運転者のそれより若干高い。しかし、それは乗り手ないしは社会に多額の医療費の支出を免れさせる。これに反して、リサイクルは多くの場合望ましいにしても、根本的解決にはならない。高いむだ使い率を放置しておいて、その後でリサイクルで問題を片づけようとするのはなぜだろう。まずむだ使い率を落とそうとするのが賢くはないか。そうすれば、リサイクルの問題自体がずっと容易になる。

永遠の財と、束の間の財とを区別するとよい。束の間の財とサービスの消費に力点をおく生活様式は、高い代謝率をもつ経済システムを求め、したがってさまざまな公害問題を生み、環境を台なしにし、不可避免的に厳しい資源のボトルネックに直面する。もちろん、消費という行為を通じて姿を消す束の間の財の流れは、人間生活に欠かすことができない。だが、この流れを適度の水準に抑え、永遠の財の創造、つまり環境の永続的な改善、秀れた道具や機械、土地、動植物と人間の健全さと健康、心から楽しめる仕事の機会、さらには美しい建築物と村や街、その建築物や村や街に編みこまれるいろいろな美しいものの創造に主たる力点をおくのが賢いだろう。そのような生活様式には、維持しきれない高い代謝率をもつ経済システムは必要でないし、それでいて貧窮や墮落の匂いは漂わない。

私は現在の生活様式の維持継続をますますむずかしくする事実の論理が、人間性に強い圧力を及ぼすだろうと信じている。この圧力には事前の沈着な思慮をもって対処し、創意工夫で対応することができる。これができれば、よしんば経済の代謝率を落とさねばならぬとしても、われわれの文明の将来に絶望するいわれはあるまい。歴史のどの世代とも比較にならない科学知識と技術力に恵まれているのだから、かつて経験したことのない、満足のゆく生活をかならず築けると信じていけない理由があるだろうか。

(E. F. シューマッハー著、酒井懋訳『スモール イズ ビューティフル再論』より)

《問題》

課題文を読み、以下の指示に従って答えなさい。

- (1) 筆者はなぜ経済代謝率と生活水準を同等とすることに懐疑的な態度をとっていると考えられるか。
200字以上300字以内で解答欄①に書きなさい。
- (2) 次の問いへの答えを、300字以上500字以内で解答欄②に書きなさい。

問： 限りある地球環境において人が満足のゆく生活を築き、これを維持継続させていくにはどうすればよいか。
筆者の見解を十分に踏まえたうえで自らの考えを述べなさい。